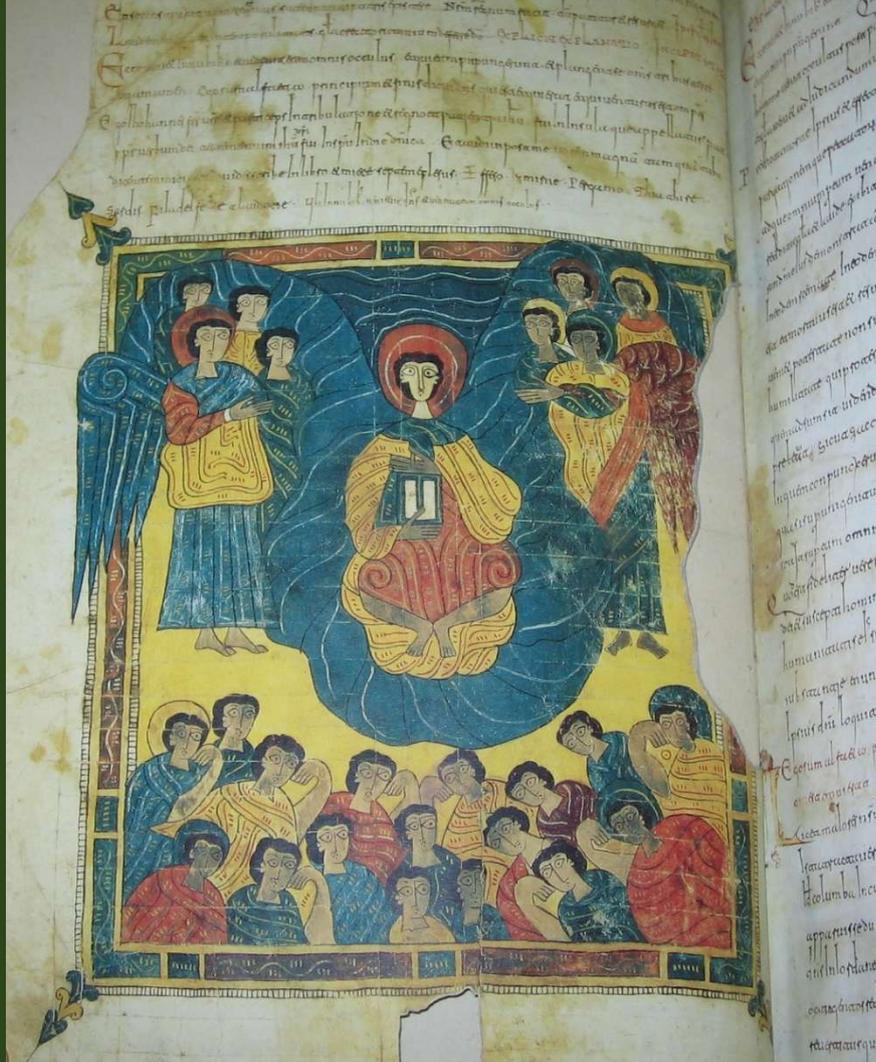




Library Liébana

ファクシミリ本で見る 中世ヨーロッパの黙示録の世界



(エスコリアル写本 f. 1v)

中世スペインの黙示録註解書写本を中心に

オリジナルを再現したファクシミリ本で、
中世の写本世界を体感



(マンチエスタ写本 f. 86)

2025年2月1日(土)～2月26日(水)
10:00～18:00 (図書館開館日)

豊田市図書館本館5階
企画展示コーナー
(参合館5階)

(入場無料)

スペインの至宝 「ベアトゥスの黙示録注解書」

8世紀のスペイン北部カンタブリア山脈の小さな村リエバナ(Liébana)にすごした修道士ベアトゥス(Beatus ; Beato de Liébana) (c.730?-c.800)が著わした「黙示録注解書」をもとに、10世紀から13世紀にかけて数多くの写本が製作されました。挿絵入りの完本写本が1000年の後に22冊も残存することからもわかるように、ほかに類を見ない人気の写本でした。(当時は全て羊皮紙に手書きで作られていました)挿絵は、当時のイスラム美術の影響を受けたモサラベ様式で書かれたものが多く、原色を多く使った特徴のある挿絵で、そのイメージの豊かさに驚かされます。今回は20冊のベアトゥス写本をファクシミリ本で一度に見ることができる日本初の機会です。

展示予定写本

【ベアトゥス黙示録注解書写本】

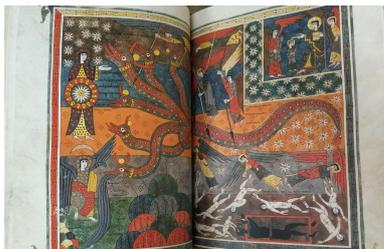
- ①モーガン写本
- ②マドリッド写本
- ③バルカバード写本
- ④ジローナ写本
- ⑤ウルジェイ写本
- ⑥コゴリャ写本
- ⑦エスコリアル写本
- ⑧ファクンドス写本
(フェルナンド1世と王妃サンチャの写本)
- ⑨サン・スヴェール写本
- ⑩オスーマ写本
- ⑪シロス写本
- ⑫コルシーニ写本
- ⑬ベルリン写本
- ⑭トリノ写本
- ⑮マンチェスター写本(ライランス写本)
- ⑯カルデーニャ写本
- ⑰リスボン写本
- ⑱ナバーラ写本
- ⑲ラス ウェルガス写本
- ⑳アローヨ写本



(マドリッド写本)

15世紀にグーテンベルクが活版印刷を発明し、大量印刷の時代となる以前のヨーロッパでは、羊皮紙による手書きの本(写本)の時代が続いていました。当初はナイル川流域に生える水草パピルスを加工したシートが本の材料として用いられていましたが、折りたたみにくいため巻物にして書かれ保管されていたのが大半でした。その後羊皮紙が発明され、巻物から冊子体へと本の形態が変わっていきます。冊子体は、ページを折り畳んで綴じたものであり、現代の本と同じ構造です。冊子体の形式は書籍の携帯性や読書の利便性を高め、情報の整理や検索もしやすくなりました。また、羊、ヤギ、子牛などの皮を原料にした羊皮紙は丈夫であり、両面に文字を書くことができるという利点がありました。

ファクシミリ本 ・ ・ オリジナル写本の大きさ・色をそのまま再現したもので、中には羊皮紙のシワや汚れ・破れ・落書きなどもそのまま再現したのもあり、中世の雰囲気を手にとって味わえます。



(シロス写本 f. 147v-148)



(サン・スヴェール写本 f. 145v)

今回はケース内での展示の為、写本挿絵は開いたところしかお見せできません。

ライブラリーリエバナでの展示ではお好きなところを見ていただけるので、ご興味のある方はぜひ店舗にもお越しください。

(スペースの関係で展示写本は毎月変えています。詳しくはH.P.またはインスタでご確認ください)

場所
豊田市中央図書館
5階
企画展示コーナー



※フリーパーキングに駐車された方は
駐車券をお持ち下さい



(ホームページ)



(インスタグラム)



(リエバナ地図)

主催 ライブラリー リエバナ